



# 野田小だより

学校教育目標

- がんばる子
- やさしい子
- 学びつづける子



## 愛校心

平成29年 3月 1日  
校長 三澤 仁生

陽光が日増しに暖かくなってきた今日この頃ですが、保護者、地域の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

さて、3月の学校だよりでは、3日の開校記念日にあわせて、野田小開校にまつわる話や、野田小学区について取り上げてきましたが、今回は、歴史的遺物の話です。

まず、正門を入れてすぐ左側にある道路元標です。

道路元標は、大正8年（1919）に公布された「道路法施行令」の「道路元標ハ各市町村ニ一箇所置ク」により、全国12000以上の自治体の中心部に設置されました。

しかしながら、昭和28年の「昭和の大合併」によって、設置当初の市町村の多くが消滅しました。また、道路法も改正され、指標としての意義がなくなったこともあり、多くが廃棄処分されてしまいました。その結果、現在、残っている道路元標は4000基程度とされています。

野田村の道路元標は、県道と村役場に向かう道路が交差する今の正門前信号機の根本付近にあったそうですが、創立140周年を記念して校地内に移設され現在に至っています。

次は、校舎南側の高台にある「土地寄付の碑」です。昭和26年、「サンフランシスコ講和条約」が締結され、戦後の日本の独立が世界に認められました。それを機に、「日清」・「日露」・「大東亜」の各戦争で没した方々の「忠魂塔」を「見沼ノ耕地ヲ脚下ニ眺メ、霊峰富士ヲ遙カニ望ミ、本村随一タル勝景ノ此台地」に建てるに当たり、土地を野田村に寄付していただいたお礼が書かれている碑です。

「～を愛する」ためには、単に「好き」になるだけでなく、その人や事柄をより深く知ることが大切です。

3月3日の開校記念日に合わせて、家族で自分が通った小学校について話し合われてはいかがでしょうか。



道路元標



野田村役場



土地寄付の碑



講和条約記念の石柱